

第4学年1組 国語科学習指導案

令和3年10月29日(金) 第6校時

児童数 男子16名 女子22名計38名

場 所 教 室

1 単元名・教材名 一番心に残った場面の感想を4年生のみんなと交流しよう「ごんぎつね」

2

(1) 教材観

本教材は、ひとりぼっち同士の中心人物であるごんと兵十との関係の変容を描いた物語である。ごんの兵十に対する気持ちの変化は、それぞれの場面のごんの行動や心内語などに注目して読み取らせたい。一方、兵十については、「六」の場面でのごんに対する気持ちの変化を読み取ることが重要であるが、ごんと直接関わる「一」の場面やごんの行動だとは知らずにそれについて話している「四」の場面とも関連付けながら考えさせたい。本教材が愛され続ける理由の一つに、民話的な語りと色彩豊かな情景描写が挙げられる。四年生には馴染みのない表現が多いが、そのことも、学びへの意欲へとつながっている。物語の結末は、悲劇的でありながら静かな余韻を残し、読者の心を揺さぶる。児童の多様な感想を引き出すことができる教材である。

(2) 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、9月に物語文「一つの花」を学習し、登場人物の心情などについて、場面の移り変わりと結び付けて捉える活動をした。その中で、中心人物の心情の変容を読み取ることができた。また、「一つの花」に込められた作者の思いに気付くこともできた。しかし、中心人物の変容について、叙述を基に読み取っていくことに課題がある。

そこで本単元では、文章全体の構成に気を付けながら、クライマックス場面における視点の転換、対人物の影響、中心人物の行動など叙述を基に中心人物の心情や様子の変容を読み取っていくことができるようにする。そのために、①中心人物と対人物の心情曲線を描き、因果関係を考える。②クライマックス場面を検討することによって、語り手の視点の変化を捉えて中心人物の変容を読み取る。③中心人物の行動(つぐない)に着目させることで、対人物に寄り添う中心人物の心の動きを読み取る。

また、アンケート調査では、タブレットの方が自分の考えを伝えやすいとする児童が約80%、友達の考えを知りたいとする児童が約73%、スライドやJamboardを操作できると回答した児童が約87%との結果が出た。このことから、タブレットを使用して文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることや他者の考え方のよさに気付かせたい。

3 研究主題との関わり

研究主題

主体的・対話的学びの視点に立つ授業改善

～情報端末の活用を通して～

<目指す児童像>

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
中学年	学習課題に興味や関心をもち、進んで解決しようとする児童	自分の考えと友達の考えを比較し、よさや違いに気付き認め合うことができる児童	学習したことを基にして、よりよい考え方や新たな課題を見付けられる児童

<仮説>

情報端末の活用を視野に入れた「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことによって、質の高い学びが実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力が身に付くであろう。

研究の視点(○は本時の手だて)

◆学力調査等をふまえた児童理解

- スクラム教員、GIGA スクールサポーターによる低学力及びタブレット操作の支援
 - ・4年1学期の文学単元「走れ」、2学期の文学単元「一つの花」の学習状況の把握
 - ・タブレット操作に関するアンケートの実施と活用
- ◆主体的な学習をうながす課題設定
 - ～Kasumi Style C（学び合いを充実させる）～による授業展開
 - 学習意欲を高める学習課題の設定
 - ・学習意欲を高めるとともに、見通して学習できるようにするための言語活動の工夫「一番心に残った場面の感想を4年生のみんなと交流しよう。」（スライド、コメント、クラスルームの活用）
 - ・タブレットの活用……意味調べと感想の交流（スライド、クラスルーム）、自力解決や話し合い活動（ジャムボード）
- ◆視点を明確にした対話的活動
 - 自分の考えや立場を明確に示すとともに、友達の考えと比較するためのジャムボードと心情曲線の活用
 - ・前時までの学習を振り返ることのできる掲示物の活用
- ◆主体的な学習をうながす「振り返り」
 - Google フォームを活用した記述式による振り返り（児童…書く力の向上・授業者…実態把握の迅速化と適切な対策）
 - ・例文の提示による、振り返りの視点の明確化

4 単元の目標

- (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。【知識及び技能】(1) オ
- (2) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。【思考力・判断力・表現力等】C (1) エ
- (3) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。【思考力・判断力・表現力等】C (1) カ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

5 本単元における言語活動

一番心に残った場面の感想を4年生のみんなと交流する。（関連：言語活動例イ）

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	① 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。【C (1) エ】 ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【C (1) カ】	① 進んで中心となる人物の心情の変化を捉え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。

7 指導と評価の計画（全13時間）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○単元を見通し、ゴールを確認する。 ○全文を読み、感想をまとめる。 ○設定を捉える。 ○意味調べ	○スライド作りや交流の仕方 ○物語を読む視点	○児童が意欲を持ってスライド作りができるように、交流をチャットで行うことを伝えたり、意味調べをスライドを用いて行ったりする。
2 ・ 3	○情景描写から、ごんの目線で見た兵十の心情を考える。	○叙述を基に想像しながら読むこと ○場の様子や心情を表す言葉	○叙述を基に想像されることを出し合い、考えを深められるように話合いの場面を設定する。 【知識・技能①】 ワークシート ・登場人物の行動や気持ちを表す語句を文章中から見付けているか確認する。 【思考・判断・表現①】 ワークシート ・登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりを結び付けて考えているか確認する。
4 ・ 5 ・ 6	○なぜ、ごんは「つぐない」をするのかを考える。	○叙述を基に想像しながら読むこと ○場面の移り変わり ○中心人物の気持ちの変化	○叙述を基に想像されることを出し合い、考えを深められるように、タブレットを用いて交流する場面を設定する。 【知識・技能①】 ワークシート ・登場人物の行動や気持ちを表す語句を文章中から見付けているか確認する。 【思考・判断・表現①】 ワークシート ・登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりを結び付けて考えているか確認する。
7 ・ 8	○中心人物と対人物の心のすれ違いを心情曲線に表す（第5場面まで）	○叙述を基に想像しながら読むこと ○登場人物同士の因果関係 ○場面の移り変わり ○中心人物の気持ちの変化	○叙述を基に想像されることを出し合い、考えを深められるように、タブレットを用いて交流する場面を設定する。 【知識・技能①】 ワークシート ・登場人物の行動や気持ちを表す語句を文章中から見付けているか確認する。 【思考・判断・表現①】 ワークシート ・登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりを結び付けて考えているか確認する。
9 ・ 10	○視点の転換から中心人物の変容を読む。	○叙述を基に想像しながら読むこと ○登場人物同士の因果関係 ○中心人物と対人物	○叙述を基に想像されることを出し合い、考えを深められるように、タブレットを用いて交流する場面を設定する。

		<p>の気持ちの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山場（視点の転換） ○クライマックス 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・技能①】</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちを表す語句を文章中から見付けているか確認する。 <p>【思考・判断・表現①】</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちの変化と場面の移り変わりを結び付けて考えているか確認する。 </div>
11 ・ 12 ・ 13	<ul style="list-style-type: none"> ○「一番心に残った場面の感想」をスライドに表す。 ○友達の作ったスライドを読み、チャットを使って感想を投稿する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心人物と対人物の気持ちの変化と場面の移り変わり ○感じ方の違いに気付くこと 	<p>○前時までに捉えた、場面の移り変わりや中心人物と対人物の気持ちの変化を基にスライドを作成するよう指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつよさに気付き、思いや考えを伝えているか確認する。 <p>【知識・技能①】</p> <p>スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や気持ちを表す語句を文章中から見付けているか確認する。 <p>【思考・判断・表現②】</p> <p>スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いているか確認する。 </div>

8 本時の学習指導（本時 10 / 13時）

(1) 目標

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。＜思考力・判断力・表現力等＞C（1）エ

(2) 評価規準

登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。＜思考力・判断力・表現力等＞C（1）エ

(3) 展開

学習活動	教師の発問 (◎) 予想される児童の反応 (・)	評価規準 (◇) 支援 (⇒) 指導上の留意点 (○)	時間
1 微音読をする。 2 本時の学習課題をつかむ。		○学習の準備をした児童から音読をさせる。 ⇒音読が苦手な児童を中心に正しい発音、速さ、姿勢を机間指導していく。 ○正しい発音や速さ、姿勢で読めるようにする。	導入 5分
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題</div>	なぜ、ごんは、ぐったりしながらもうなずいたのでしょうか。		
3 前時までの学習内容を確認する。	◎視点が変わったのは、どこだろう。 ・語り手が変わっている。 ・兵十の視点 ・ごんの視点 ◎どうして「うなずきました。」だけ視点が変わったのだろう。 ・中心人物が大きく変わったところだから。	○子供たちから引き出したことを短冊にして掲示していく。	展開 35分
4 クライマックス場面でのごんの変容を読み取る。 ・個人→グループ→全体で交流	◎中心人物と対人物の心情曲線を Jamboard に表そう。 ・ごんは打たれてしまって悲しいので、距離は離れる。 ・打たれてしまったけれど、自分だと気付いてもらえたので、距離は縮む。	○ごんと兵十の心情の変化をつかみ、クライマックスで初めて二人の心の距離が一致することに気付かせる。 ⇒叙述を基に根拠を書くこと、友達の意見を聞いて考えが変わったところ、意見が変わらなかった人は、その理由も伝えるよう指導する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</div> 5 うなずいたわけを自分の言葉でまとめる。	◎ワークシートに、ごんがうなずいたわけを書こう。 ・どうしても兵十につぐないをしていたことを分かってもらいたかったから。 ・やっと、兵十と心が通じてうれしかったから。	○全員に視点を示すために、ひとりぼっちのごんは、つぐないにこだわってきたことを助言する。	

		<p>◇評価規準</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C (1) エ</p> <p><評価方法></p> <p>ワークシート</p> <p>・ごんの行動と気持ちの変容を結び付けてまとめている児童をBとする。</p> <p><「努力を要する」状況(C)への手立て></p> <p>・心情曲線やつぐないの言葉を使ってまとめるよう助言する。</p>	
6	本時の学習の振り返りをする。	◎GoogleClassroom からフォームで振り返り課題を提出しよう。	○中心人物の行動から、気持ちの変化を捉えることができたか、心情曲線を表すことによって登場人物の変容を理解できたかを振り返らせる。
	振り返り		振り返り 5分

9 板書計画

課題 なぜ、ごんは、ぐったりしながらもうなずいたのでしょいか。

ごんぎつね
新美 南吉

絵

絵

(ごん) くりを持って出かけました。
 (ごん) こっそり中へ入りました。
 (兵十) ふと顔を上げました。
 (兵十) ドン、と打ちました。
 (兵十) ぱたりとたおれました。
 (兵十) かけよってきました。
 (兵十) 目につきました。
 (ごん) うなずきました。
 (兵十) ぱたりと、取り落としました。

中心人物(ごん)と対人物(兵十)の心のきより

兵十

一場面 「うわあ、ぬすときつねめ。」
 二場面 そう式、おつかあ」
 三場面 「おれと同じ、ひとりぼっち」
 四場面 お念仏
 五場面 神様のしわざ
 六場面 「ごん、おまえだったのか。」

ごん

いたずら、ひとりぼっち
 うなぎが食べたいと思いつながら、死んだらう
 ★思いこみ
 つぐない
 二人の後をつけていく
 引き合わない
 火縄じゆうで打つ
 目をつぶったまま、うなずきました。

まとめ

・どうしても兵十につぐないをしていたことを分かってもらいたかったから。
 ・やっと、兵十と心が通じてうれしかったから。